

2023年12月期 決算説明会資料

2024年2月21日
株式会社ナカニシ

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

財務戦略

持続的成長を志向し「事業を成長させる」為の
設備投資やM&Aを含めた戦略投資を積極化

会計方針

JGAAPに基づき「のれん」償却を継続し
事業価値の毀損等による減損リスクを低減

事業本来の収益性・成長性に焦点を当てるべく
業績管理指標を営業利益からEBITDAに変更

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{のれん償却額}$$

(百万円)	2018/12 実績	2019/12 実績	2020/12 実績	2021/12 実績	2022/12 実績	2023/12 実績
売上高	36,543	35,418	33,055	44,857	48,671	59,692
EBITDA マージン	11,269 30.8%	11,051 31.2%	10,350 31.3%	15,612 34.8%	17,493 35.9%	17,775 29.8%
営業利益	9,721	9,299	8,542	13,750	15,389	14,296
減価償却費	1,522	1,684	1,759	1,807	2,049	2,929
のれん償却額	24	67	49	54	55	549

2023年12月期 連結決算概要

執行役員CFO 鈴木 大介

- イエガー・DCI・リファイン買収や円安効果により、売上・EBITDAは過去最高を更新。のれん償却負担増で営業利益は減益。当期純利益は過去最高だが、キャッシュフローを伴わない特別利益計上によるもの
- 部品調達難の解消や生産増強の進展により、生産は計画とおりに推移
「M1」建設は順調で、今年4月から第1区画（組立工場）の操業を開始
- DCI買収関連の一過性且つ会計上の特別利益「段階取得に係る差益」を控除した調整後当期純利益を基準にした場合の総還元性向は63%

百万円

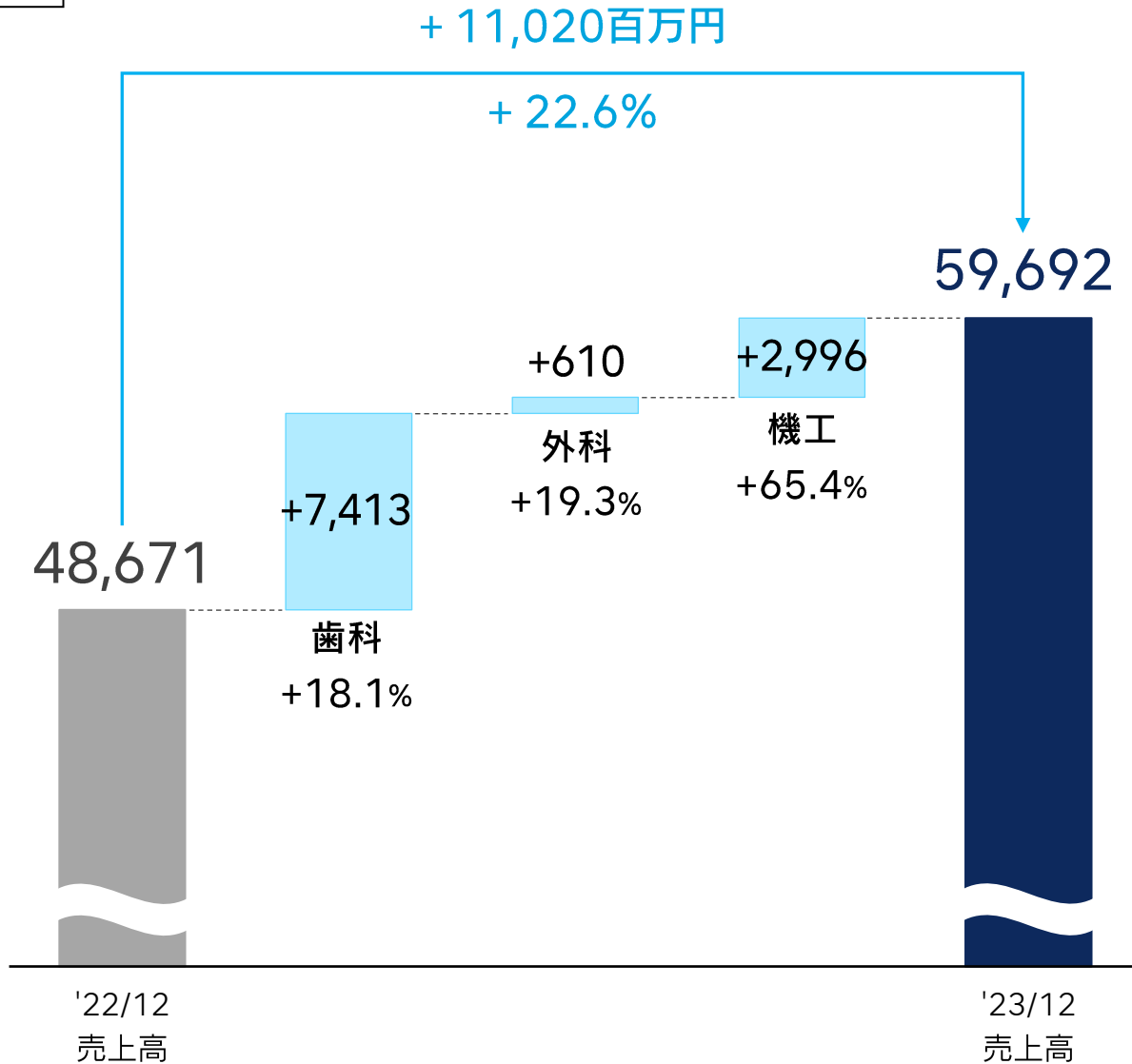
		当期実績	前期実績	前期比		当期予想	
		2023/12	2022/12	増減額	増減率	11/10 修正	予想比
売上高		59,692	48,671	+11,020	+22.6 %	60,569	-1.4 %
売上総利益		36,124	31,221	+4,902	+15.7 %	36,547	-1.2 %
	利益率	60.5%	64.1 %	-3.6 pt	-	60.3 %	-
EBITDA *		17,775	17,493	+281	+ 1.6%	18,294	-2.8 %
	マージン	29.8%	35.9 %	-6.2 pt	-	30.2 %	-
営業利益		14,296	15,389	-1,092	-7.1 %	14,836	-3.6 %
	利益率	24.0%	31.6 %	-7.7 pt	-	24.5 %	-
経常利益		17,238	17,646	-408	-2.3 %	18,246	-5.5 %
	利益率	28.9%	36.3 %	-7.4 pt	-	30.1 %	-
親会社株主に帰属する 当期純利益		22,835	12,471	+10,364	+83.1 %	24,613	-7.2 %
	利益率	38.3%	25.6 %	+12.6 pt	-	40.6 %	-
E P S	(円)	268.04	145.48	-	-	289.42	-

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

為替レート	- 米ドル (円)	140.54	130.77	+9.77	-	140.63	-0.09
	- ユーロ (円)	152.27	137.90	+14.37	-	151.61	+0.66

・ 為替影響額： 売上高 +2,527百万円（前期比），+3,675百万円（予想レート比）

百万円

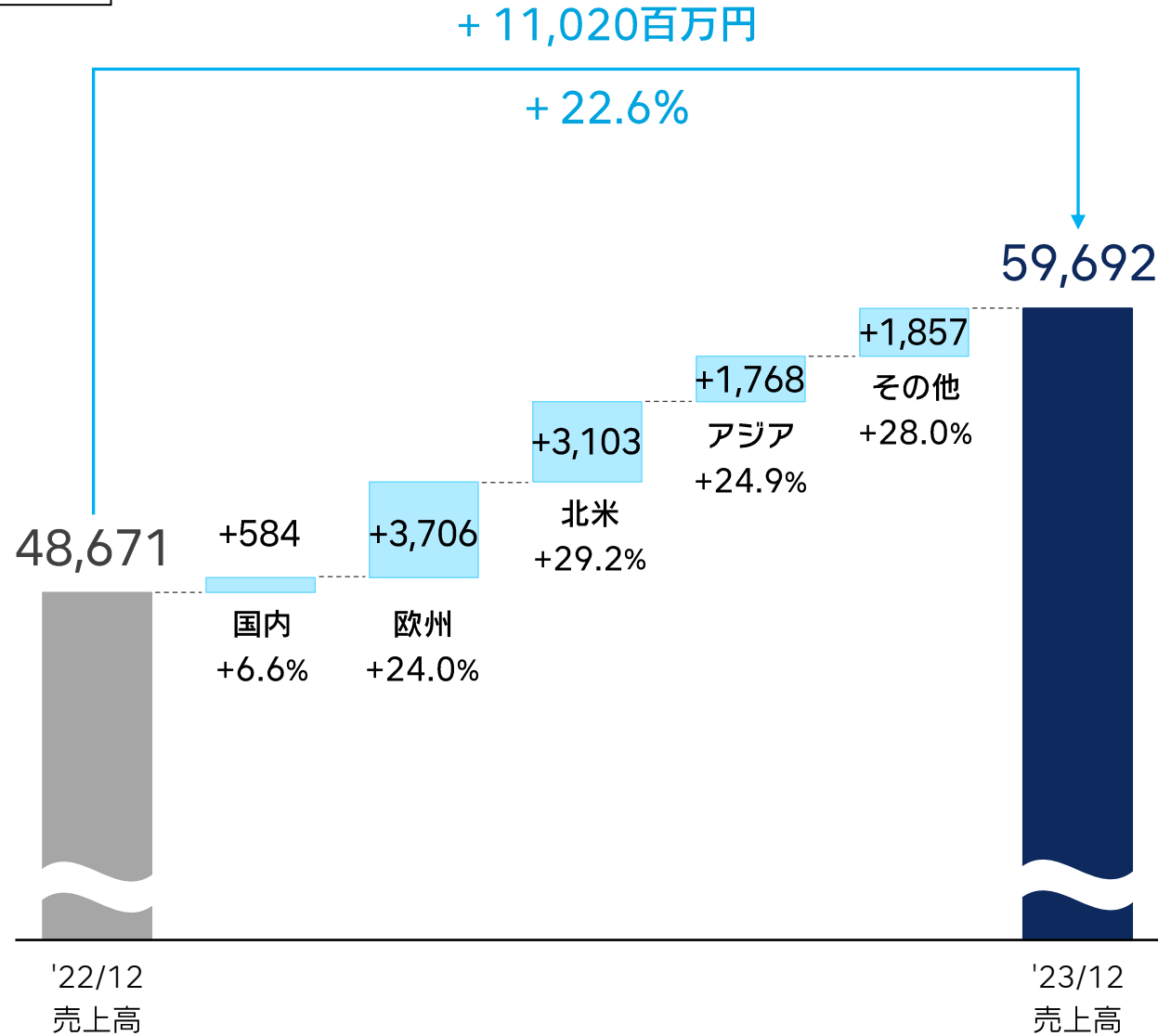


	前期実績 2022/12	当期実績 2023/12	増減
歯科事業	40,926	48,340 <small>うち、DCI 3,974</small>	+ 18.1%
外科事業	3,160	3,770	+ 19.3%
機工事業	4,584	7,581	+ 65.4%
合 計	48,671	59,692	+ 22.6%

為替影響額 +2,527百万円 (+5.2%)

M&A効果 +7,147百万円 (+14.7%)

百万円



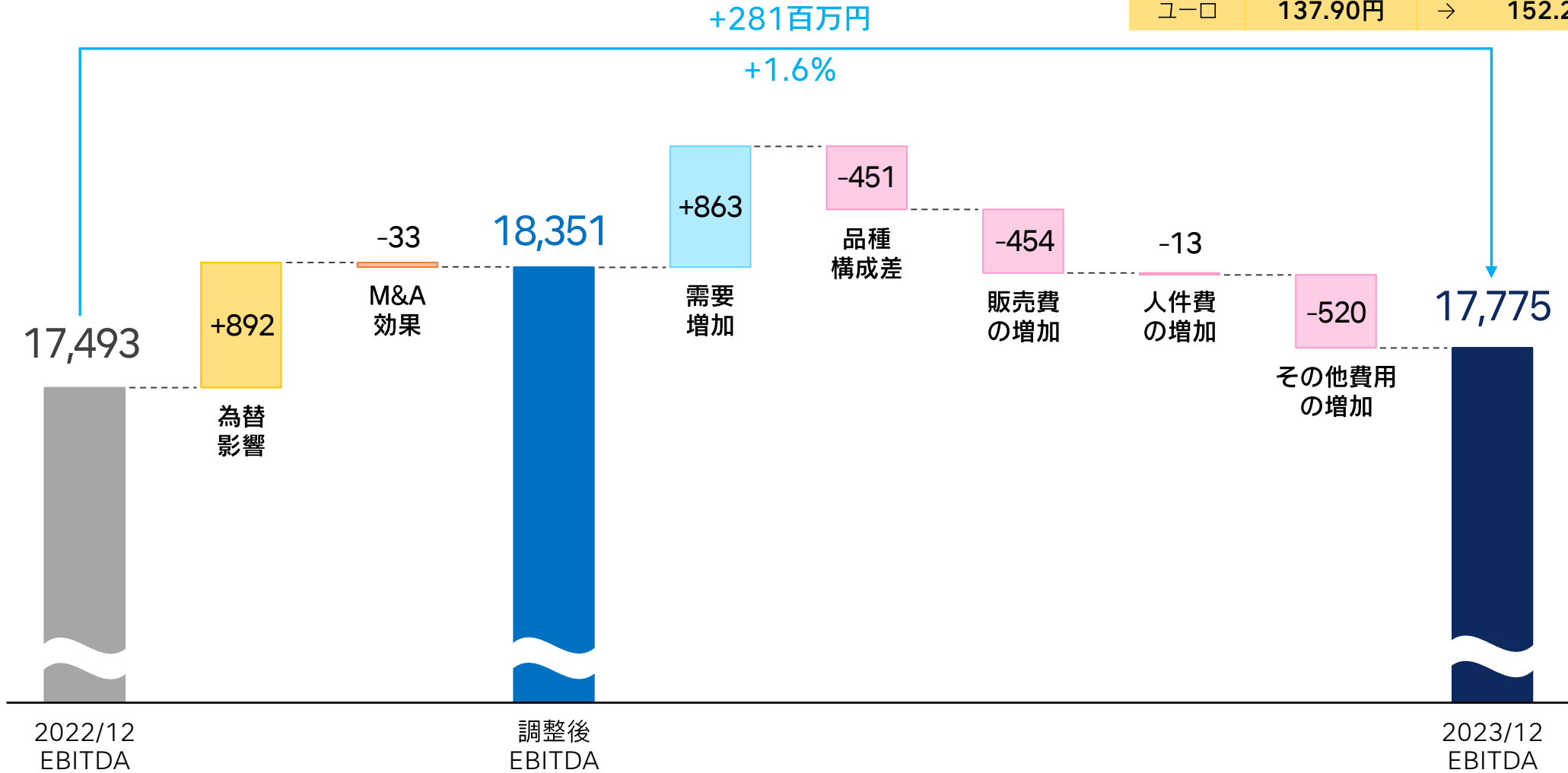
	前期実績 2022/12	当期実績 2023/12	増減
国内	8,891	9,475	+6.6%
欧州	15,432	19,138	+24.0%
北米	10,620	13,724	+29.2%
アジア	7,091	8,860	+24.9%
その他	6,636	8,493	+28.0%
合計	48,671	59,692	+22.6%

為替影響額 +2,527百万円 (+5.2%)

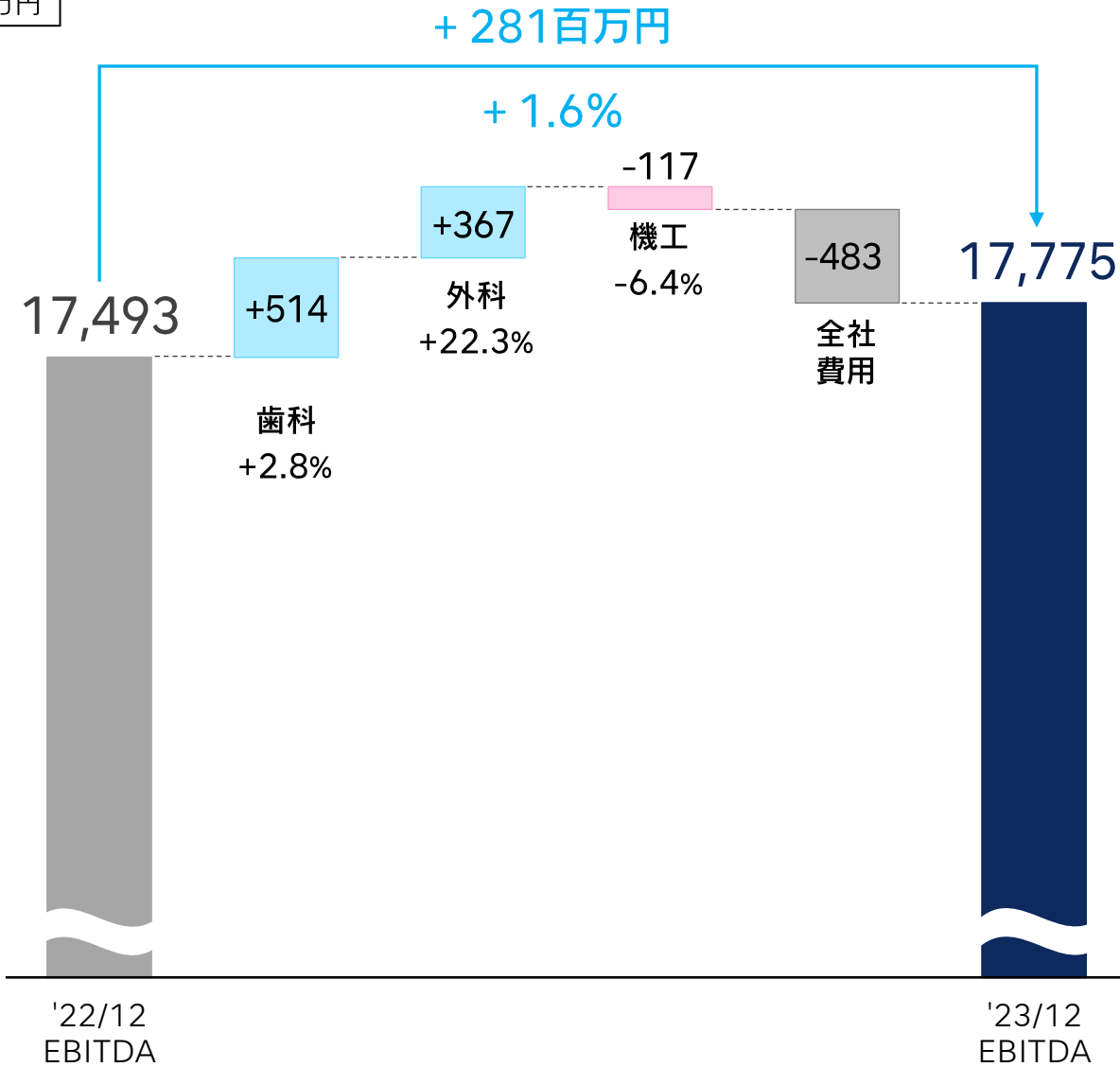
M&A効果 +7,147百万円 (+14.7%)

百万円

平均為替レート		
	2022/12 実績	2023/12 実績
米ドル	130.77円	→ 140.54円
ユーロ	137.90円	→ 152.27円



百万円

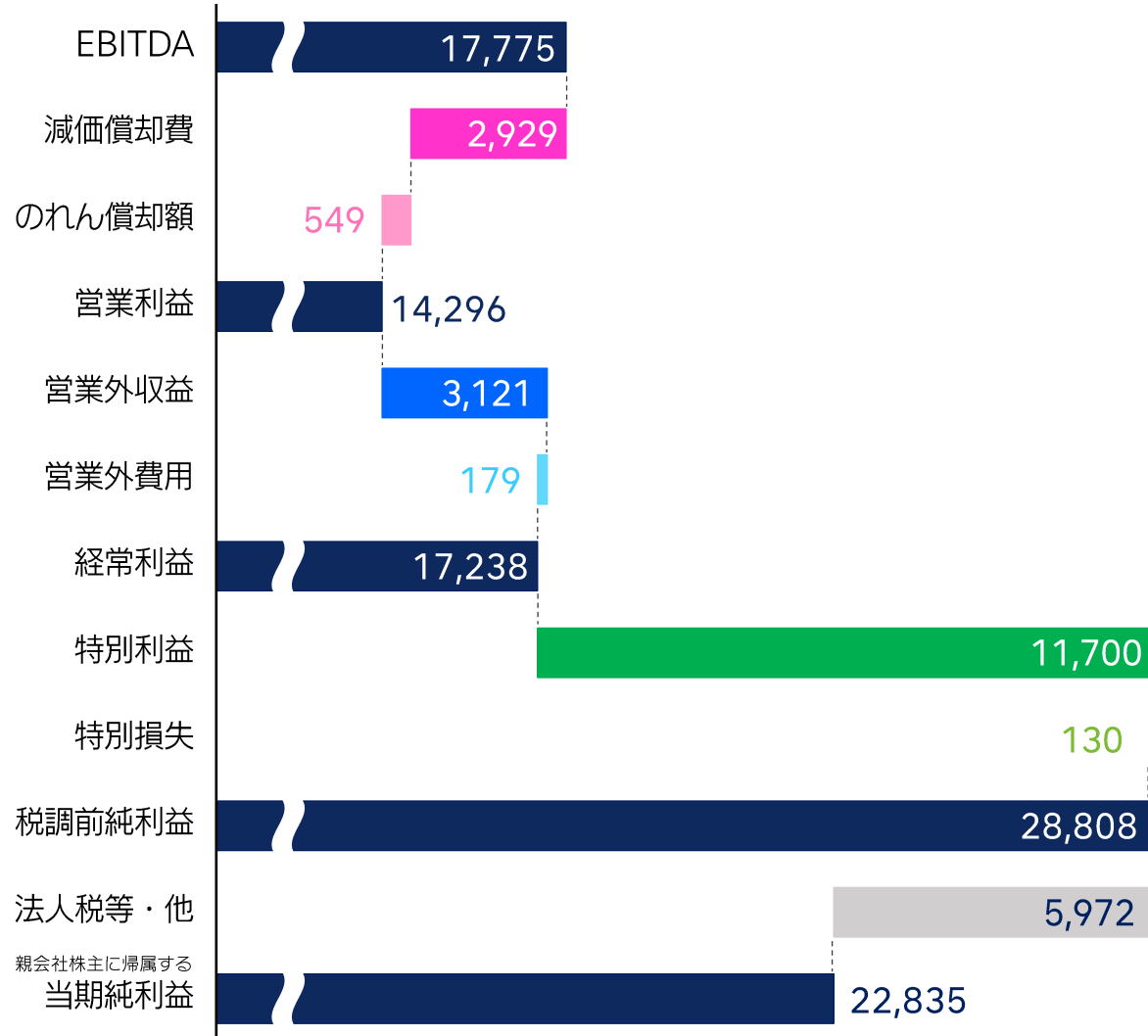


	前期実績 2022/12	当期実績 2023/12	増減
歯科事業	18,451	18,966	+2.8%
外科事業	1,651	2,018	+22.3%
機工事業	1,843	1,726	-6.4%
全社共通	-4,453	-4,936	-
合計	17,493	17,775	+1.6%

為替影響額 +892百万円 (+5.1%)

M&A効果 -33百万円 (-0.2%)

百万円

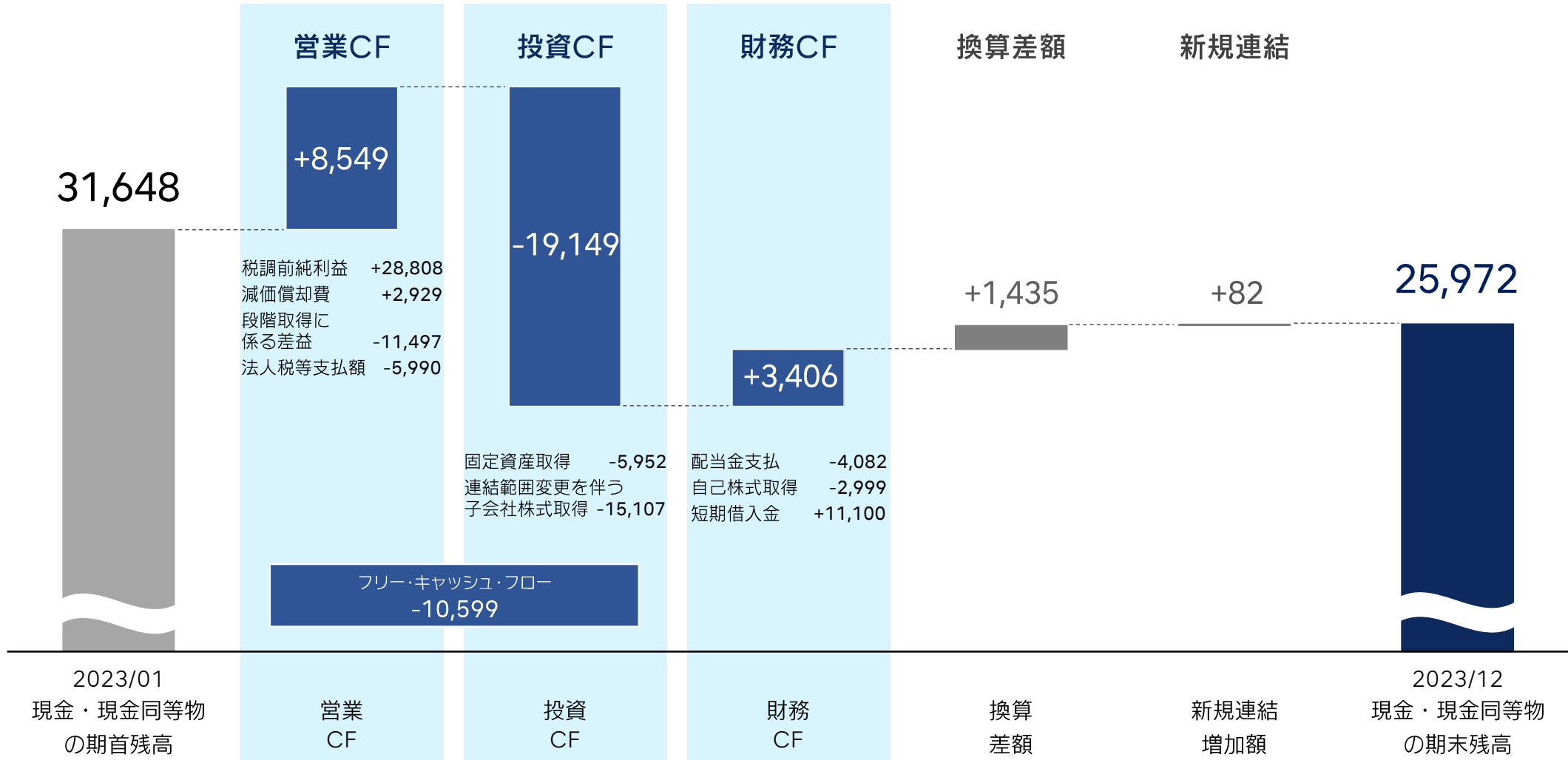


営業外収益	・ 受取利息	591
	・ 為替差益	2,088
営業外費用	・ 持分法による投資損失	100
特別利益	・ 投資有価証券売却益	201
	・ 段階取得に係る差益	11,497
特別損失	・ 固定資産解体費用	100

百万円

		当期末 2023/12	前期末 2022/12	増減額	主な増減内容
総資産		140,713	102,636	+38,076	・建設仮勘定 +2,959
- 現金及び預金		31,718	34,992	-3,274	・商品及び製品 +4,976
- 棚卸資産		23,984	16,526	+7,457	・仕掛品 +994
- のれん		21,934	1,482	+20,452	・原材料及び貯蔵品 +1,486
負債		27,512	11,613	+15,898	・繰延税金負債 +4,022
- 有利子負債		11,668	480	+11,187	・短期借入金 +11,378
純資産		113,200	91,022	+22,178	・為替換算調整勘定 +2,536
- 利益剰余金		112,346	93,628	+18,718	
自己資本当期純利益率	(ROE)	22.4 %	14.4 %	+8.0 pt	
総資産経常利益率	(ROA)	14.2 %	17.9 %	-3.7 pt	
		当期実績 2023/12	前期実績 2022/12	増減額	当期実績の主な内容
設備投資額		5,984	4,058	+1,926	・新工場「M1」関連 2,934
減価償却費		2,929	2,049	+880	

百万円



Environment

2023年11月 前年に引き続き「本社工場」「A1工場」「A1+工場」でカーボンニュートラルを達成

* GHGプロトコル スコープ1 および2

* ソコテック・サーティフィケーション・ジャパンによる第三者保証を取得

Rating



2024年12月期 連結業績予想

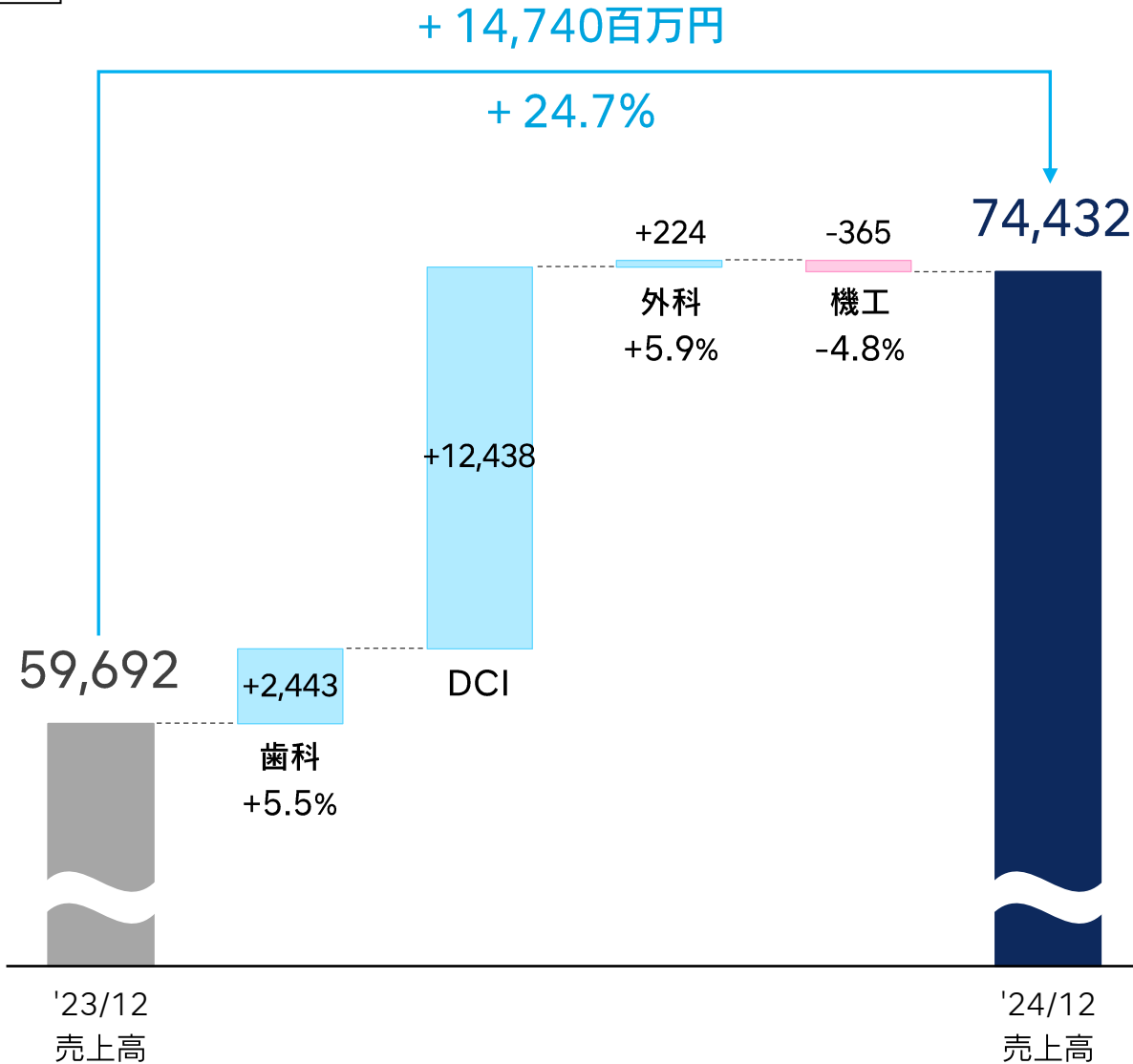
百万円

		業績予想 2024/12	当期実績 2023/12	増減 増減額	増減率	説明
売上高		74,432	59,692	+14,740	+24.7%	
売上総利益		41,324	36,124	+5,200	+14.4%	
	利益率	55.5%	60.5%	-5.0 pt	—	
EBITDA*		17,770	17,775	-4	-0.0%	
	マージン	23.9%	29.8%	-5.9 pt	—	
営業利益		12,652	14,296	-1,643	-11.5%	
	利益率	17.0%	24.0%	-7.0 pt	—	
経常利益		13,088	17,238	-4,149	-24.1%	
	利益率	17.6%	28.9%	-11.3 pt	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益		8,894	22,835	-13,941	-61.1%	
	利益率	11.9%	38.3%	-26.3 pt	—	
E P S	(円)	104.28	268.04	—	—	
設備投資額		8,617	5,984	+2,632	—	新工場「M1」関連、他
減価償却費		3,615	2,929	+685	—	
為替レート						
- 米ドル	(円)	135.00	140.54	-5.54	—	為替感応度: 年間売上高 214百万円
- ユーロ	(円)	150.00	152.27	-2.27	—	為替感応度: 年間売上高 98百万円

百万円

		DCI・リファインを除外した	DCI・リファインを除外した	増減		説 明
		業績予想 (参考値) 2024/12	当期実績 (参考値) 2023/12	増減額	増減率	
売 上 高		55,648	55,335	+312	+0.6%	
売上総利益		34,405	34,979	-574	-1.6%	
	利益率	61.8%	63.2%	-1.4 pt	—	
E B I T D A *		16,418	17,593	-1,164	-6.6%	
	マージン	29.5%	31.8%	-2.3 pt	—	
営業利益		13,523	14,892	-1,368	-9.2%	
	利益率	24.3%	26.9%	-2.6 pt	—	
経常利益		13,971	18,026	-4,054	-22.5%	
	利益率	25.1%	32.6%	-7.5 pt	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益		9,893	12,023	-2,130	-17.7%	
	利益率	17.8%	21.7%	-4.0 pt	—	
為替レート						
- 米ドル	(円)	135.00	140.54	-5.54	—	
- ユーロ	(円)	150.00	152.27	-2.27	—	

百万円



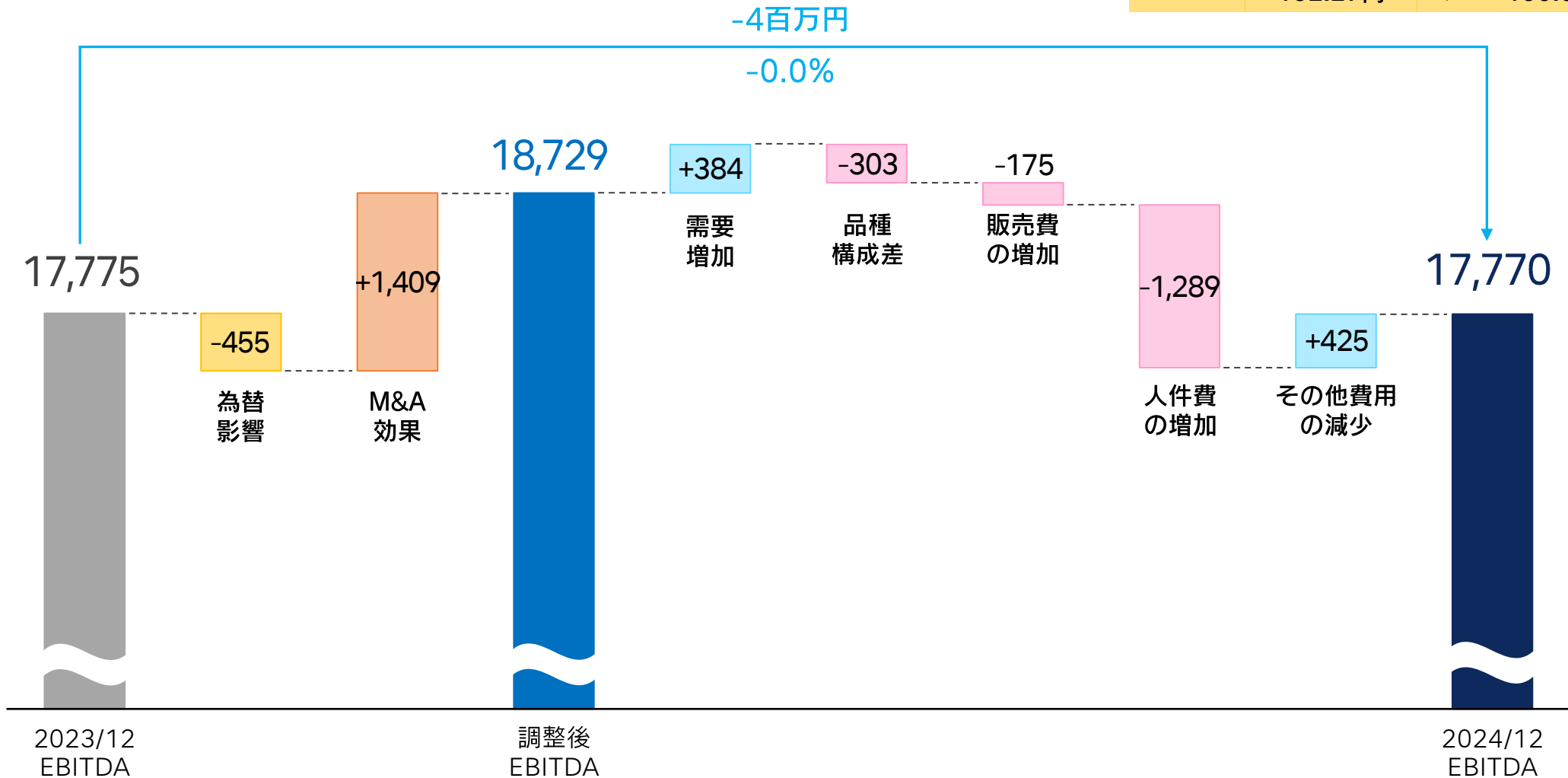
	当期実績 2023/12	今期予想 2024/12	増減
歯科事業	44,366	46,809	+5.5 %
DCI事業	3,974 (10-12月)	16,412 (1-12月)	-
外科事業	3,770	3,994	+5.9 %
機工事業	7,581	7,215	-4.8 %
合計	59,692	74,432	+24.7 %

為替影響額 -1,096 百万円 (-1.8%)

M&A効果 +14,427 百万円 (+24.2%)

百万円

平均為替レート		
	2023/12 実績	2024/12 予想
米ドル	140.54円	→ 135.00円
ユーロ	152.27円	→ 150.00円



2024年12月期第1四半期決算発表から「DCI事業」セグメントを新設

現セグメント

歯科事業

Dental Business



歯科事業

Dental Business



補綴歯科治療・歯周病治療・訪問歯科治療・インプラント治療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売

・ナカニシ(歯科事業)
・リファイン

DCI事業

DCI Business



DCI International, LLCが米国で展開するデンタルチェア事業。デンタルチェアおよび周辺機器の開発・製造・販売

・DCI

外科事業

Surgical Business



外科事業

Surgical Business



脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科などの分野で使用される骨切削ドリルの開発・製造・販売

・ナカニシ(外科事業)

機工事業

Industrial Business



機工事業

Industrial Business



自動車・航空機・精密機器等、幅広い産業の超微細・精密加工で使用するモーター・スピンドル等の開発・製造・販売

・ナカニシ(機工事業)
・イエガー

歯科事業

Dental Business



ハンドピース



インプラントモーター



超音波スケーラー



歯科用マイクロモーター

DCI事業

DCI Business



デンタルチェア



外科事業

Surgical Business



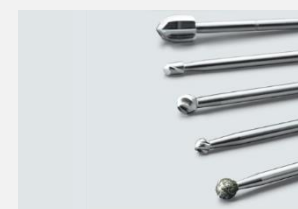
コンソール



スリムモーター



アタッチメント



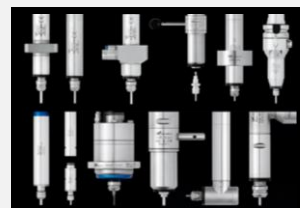
ディスク

機工事業

Industrial Business



コントローラー



スピンドル



電動式グラインダー



超音波式グラインダー

株主還元

DCI買収プロセスで計上した特別利益により配当金の基準となる当期純利益に“キャッシュ・フローを伴わない”変動要素が生じた

[一時的・増益要素]

段階取得に係る差益
(特別利益)

11,497百万円

[継続的・減益要素]

左記特別利益によって
増加したのれん償却額

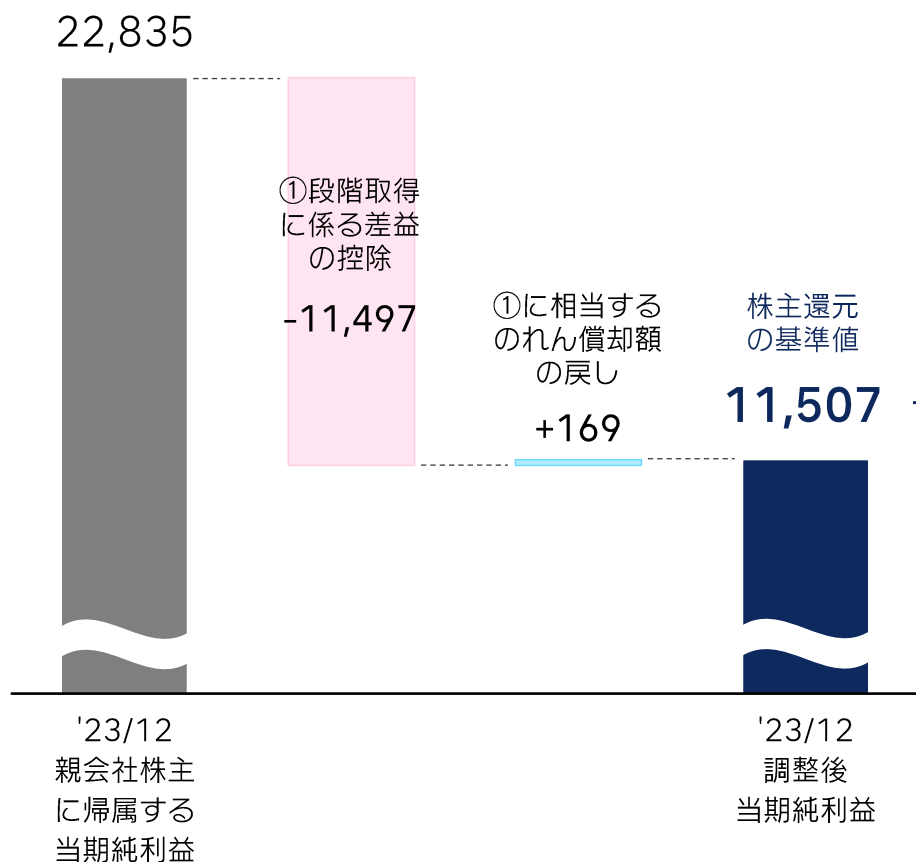
676百万円/年 (償却期間
16カ年)

当期および今期以降の配当金予想の算定では、上記要素を除外

* PPA完了後に償却額変更される可能性あり

百万円

株主還元基準値の調整



2023年12月期 株主還元

自己株式の取得

2023年3月	取得株数 180,600株	取得総額 499百万円
2023年10月	取得株数 755,100株	取得総額 2,499百万円
		計 2,999百万円

配当金

中間配当(実績)	一株当たり 24円00銭	配当総額 2,039百万円
期末配当(予想)	一株当たり 26円00銭	配当総額 2,217百万円
		計 4,257百万円

2023年12月期 株主還元(予想)

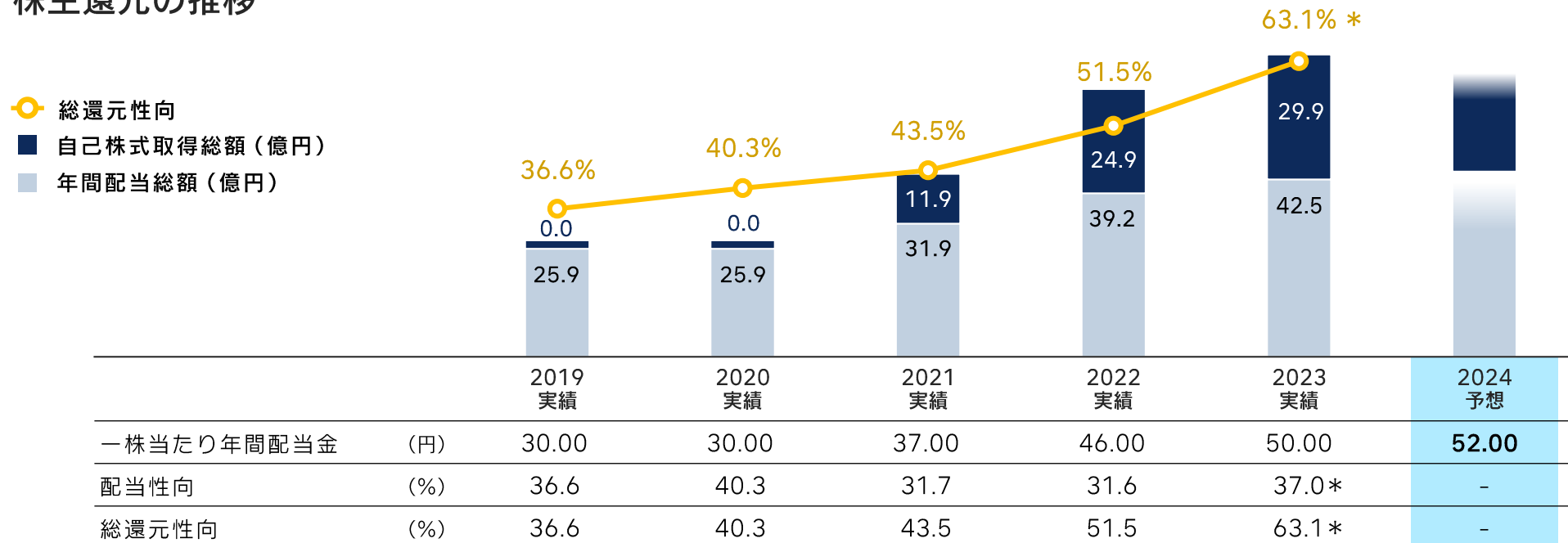
調整後当期純利益ベース	配当性向	37.0%
調整後当期純利益ベース	総還元性向	63.1%

株主還元の方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けており、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主様への利益還元をバランスよく行ってまいります。

将来の成長投資に必要となる内部留保を考慮した上で、**中期的な利益還元の基準を総還元性向50%**に設定し、**機動的な自己株式の取得と安定的かつ継続的な増配**を行うよう努めてまいります。

株主還元の推移





一株当たり年間配当金	(円)	30.00	30.00	37.00	46.00	50.00	52.00
配当性向	(%)	36.6	40.3	31.7	31.6	37.0*	-
総還元性向	(%)	36.6	40.3	43.5	51.5	63.1*	-

M&A基本方針と直近の買収案件概要

「歯科・外科・機工」の事業領域を堅持しつつ、下記方針に基づくM&Aを遂行

1. 既存事業の成長に向けたコア技術・周辺分野の買収 ▶▶▶ DCI・イエガー
2. リソースを補完し、競合他社に対抗するための買収 ▶▶▶ リファイン
3. ナカニシの高い生産技術を活用できる新分野の買収

 ターゲット	対象企業	当社の事業領域（歯科・外科・機工）およびその周辺分野
	対象地域	地域を特定せず
	対象企業	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の市場でリーダーもしくはそれに準じるポジションを有する企業 ・開発・製造・販売のいずれかの分野で強みを有する企業 ・差別化できる強いブランドもしくは製品を有する企業
 当社の強み	財務健全性	財務健全性、安定したキャッシュフロー創出力に基づいた資金調達力
	保有通貨	安定通貨である日本円に加え、ユーロ・米ドル等の外貨による現金・現金同等物を保有
	ニッチトップ	マーケットリーダーとして世界の市場動向を俯瞰し、適時適確なM&Aを遂行

コングロマリット化の志向はゼロ。既存事業の強化が図れるかどうかを最重要判断基準

コア技術 を強化できるか？

削るテクノロジー

1. 超高速回転技術
2. マイクロモーター技術
3. 超音波技術

ビジネス を拡張できるか？

製品ラインアップ

1. 歯科医療用機器
2. 外科医療用機器
3. 産業用スピンドル

イエガー（高周波スピンドル）
リファイン（予防歯科用機器）

販売力 を強化できるか？

販売ネットワーク

1. 販売エリア
2. 販売チャネル
3. 市場プレゼンス

イエガー（販売エリア）
DCI（販売チャネル/市場プレゼンス）

イエガー

2022年12月 買収完了



DCI

2023年8月 買収完了



リファイン

2023年11月 買収完了



会社名	Nakanishi Jaeger GmbH	DCI International, LLC	桂林市銳鋒醫療器械有限公司
創業	1967年	1983年	2017年
所在地	ドイツ ヘッセン州 オーバー=メルレン	米国 オレゴン州 ニューバーグ	中国 広西チワン族自治区 桂林市
代表者	Björn Werner, Managing Director	John Spencer, CEO	山内 明彦, 董事長
従業員数	約120名	約400名	約140名
事業概要	高性能HF（高周波）スピンドルの開発・製造・販売	デンタルチェアおよび歯科機器部品の開発・製造・販売	超音波スケーラー等、歯科医療機器の開発・製造・販売
生産拠点	ドイツ	米国	中国
FY2022 年間売上高	2,565百万円 (1ユーロ = 137.90円)	19,567百万円 (1米ドル = 130.77円)	2,138百万円 (1人民元 = 19.38円)

イエガー

高周波スピンドル、他



▲ NAKANISHIスピンドルに比べ大径・高出力



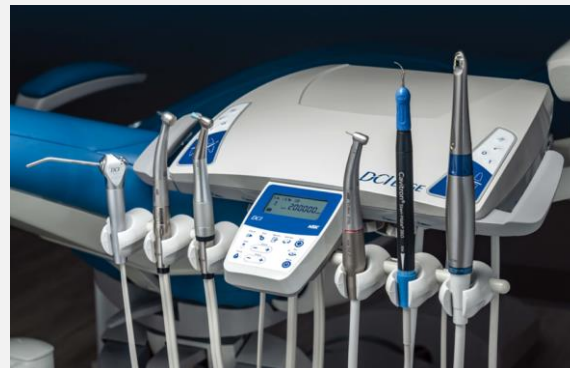
▲ 歯科用CAD/CAM用スピンドルに強み

DCI

デンタルチェア、他



▲ 主力のデンタルチェアは米国シェア第2位



▲ NSKモーターを搭載したモデルも展開

リファイン

超音波スケーラー、他



▲ 主力製品は超音波スケーラー・歯根治療機器



▲ ローエンド製品群もラインアップ

イエガー

2022年12月 買収完了

DCI

2023年8月 買収完了

リファイン

2023年11月 買収完了

買収価額
支払方法現金 27.4 M€
(3,881百万円)① 持分33%取得 - 2020年10月
現金 25.0 M\$ (2,587百万円)② 持分16%取得 - 2021年12月
現金 12.1 M\$ (1,483百万円)③ 持分51%取得 - 2023年8月
現金 98.9 M\$ (14,469百万円)
自己株式 24.9 M\$ (3,654百万円)④ アーンアウト - FY2023-24業績による
現金 最大20 M\$現金 152 M人民元
(3,100百万円)EBITDA
マルチプル

9 - 10 倍

① + ② + ③ 8 - 9 倍

15 - 16 倍

イエガー

2022年12月 買収完了

PPA 完了前

のれん： 2,706百万円
(1ユーロ=137.90円)
 償却期間： 10年想定

PPA 完了

(1ユーロ = 150.00円)

	償却期間	2024期首残高	償却費(年間)
有形固定資産	5~27年	653百万円	60百万円
無形固定資産	12~15年	740百万円	56百万円
のれん	10年	1,342百万円	149百万円
計			266百万円

* PPAで売上原価と認識した資産は2023年度に償却済み

DCI

2023年8月 買収完了

PPA 完了前

のれん： 31,009百万円
(1米ドル=149.58円)
 償却期間： 10-20年想定

PPA 完了

(1米ドル = 135.00円)

	償却期間	2024期首残高	償却費(年間)
無形固定資産	15~20年	13,656百万円	859百万円
のれん	16年	17,769百万円	1,128百万円
計			1,988百万円

* PPAで売上原価と認識した資産は2023年度に償却済み

リファイン

2023年11月 買収完了

PPA 完了前

のれん： 2,425百万円
(1人民元=20.46円)
 償却期間： 10年想定

PPA 未完了

FY2024Q1決算
 までに完了予定

2023事業概況と 2024施策

代表取締役社長執行役員 中西 英一

円安・M&Aが追い風となって全地域で増収
為替・買収効果を除くと売上高は前期並み

* 機工事業にイエガー含む

欧州	191.3億円	YoY +24.0%	歯科 ↑	外科 ↓	機工 ↑
上半期	95.9億円	YoY +24.0%	歯科 ↑	外科 ↓	機工 ↑
下半期	95.4億円	YoY +24.1%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑

* 歯科事業にDCI含む

国内	94.7億円	YoY +6.6%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↓
上半期	51.2億円	YoY +15.9%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑
下半期	43.5億円	YoY -2.7%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↓

北米	137.2億円	YoY +29.2%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑
上半期	45.7億円	YoY -16.3%	歯科 ↓	外科 ↓	機工 ↑
下半期	91.4億円	YoY +77.7%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑

* 歯科事業にリファイン含む

アジア	88.6億円	YoY +24.9%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑
上半期	44.8億円	YoY +29.0%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑
下半期	43.7億円	YoY +21.0%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↓

南米・中近東・ロシア・オセアニア

その他	84.9億円	YoY +28.0%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑
上半期	44.8億円	YoY +33.5%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑
下半期	40.1億円	YoY +22.3%	歯科 ↑	外科 ↑	機工 ↑

ナカニシの歯科・外科・機工の各事業は世界市場で着実に成長 イエガー・DCI・リファインの合流でグループ総合力を底上げ

中期経営計画ローリングプラン

NV2025+

基本方針と重点施策

1. デンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大
2. 超高齢化のニーズに応える新規事業育成
3. スピーディな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

2023年度の進捗

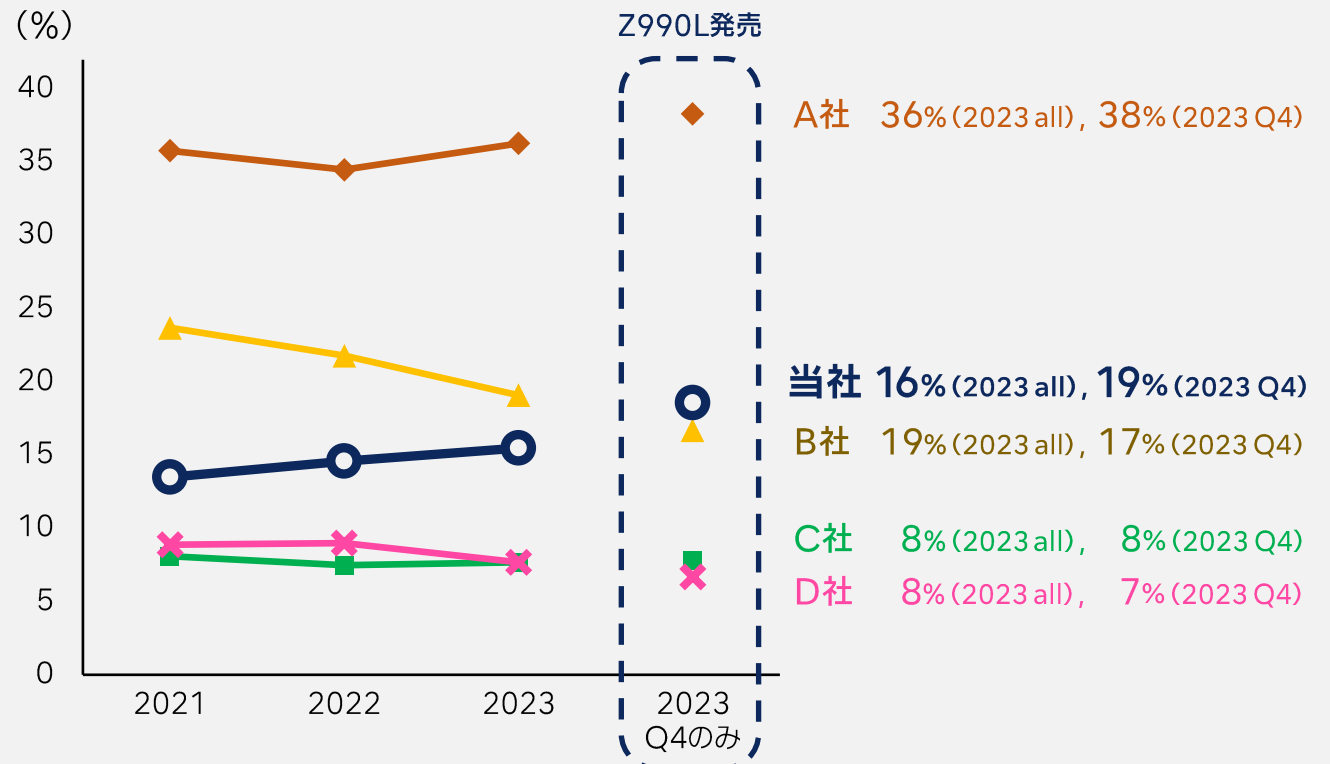
- ・ 競争力ある新製品の発売でシェア拡大に布石
- ・ 中国工場の生産本格化。ラインアップ拡大
- ・ DCI・リファインの買収で事業成長を加速
- ・ 廉価版インプラントモーターの新製品を上市
- ・ 新工場「M1」建設プロジェクトは順調に推移



ハンドピース(エアタービン)

Ti-Max Z990L / Z890L

■ 米国：ライト付エアタービンシェアの推移





インプラント治療用機器

Surgic AP2

2023年12月発売

**信頼性はそのままに、シンプルな機能で
コスト競争力を高めた新興国向け新製品**

- ▶ 従来機より小型・軽量化したマイクロモーターを搭載
- ▶ カラー液晶パネル搭載で優れた視認性・操作性を実現
- ▶ ワイヤレス接続のフットコントローラーで利便性UP

東南アジア・中近東・南米等で順次発売予定

M1

新しい組立工場 / 部品・完成品倉庫 / アフターサービス拠点



**第1区画（組立工場）が
今年5月に操業開始予定**

M1工場 総延床面積 約20,000平米

- ▶ 第1区画（組立工場） 約12,000平米
- ▶ 第2区画（倉庫・サービス） 約8,000平米

2024年 市場動向予測

- 歯科事業：コロナ禍以降続いてきた世界的需要増は一巡する見込み
外科事業：引き続き手術件数回復を背景に需要は堅調となる見込み
機工事業：主要市場の設備投資案件が停滞傾向で需要減少の見込み

2024年 基本戦略

- ▶ 主力製品であるハンドピース・インプラント
モーター・予防歯科製品を世界各市場で拡販
- ▶ 外科事業を世界の各市場で確実に伸長させる
- ▶ イエガー・DCI・リファインとのシナジー創出
- ▶ 「M1」の早期立ち上げとコスト競争力アップ

国内



2023年の概況

販売
動向

↗
YoY

- 「Ti-Max Z990L」の発売効果もあり自社ブランドの販売伸長
- OEMビジネスも二桁増収達成

2024年の施策

販売
動向

→
YoY

- 自社ブランド販売は好調で、前年に引き続き増収トレンドを維持
- 前年特需の剥落でOEMは減収

欧州



2023年の概況

販売
動向

↗
YoY

- 需要退潮傾向が続く中、独・伊・北欧は販売伸長、特需明けの英・仏は減少。欧州全域では現地通貨ベースで前期並み
- 欧州OEMビジネスは減退傾向

2024年の施策

販売
動向

→
YoY

- 需要一巡するもののハンドピースや予防歯科製品の拡販で現地通貨ベースでは増収の見込み
- 欧州OEMビジネスは減退続く

北米



2023年11月26日～29日 Greater New York 2023

2023年の概況

販売
動向

↓
YoY

- セルアウトは堅調だったが流通在庫調整、最大手ディーラーのサイバー攻撃被害の影響で、大幅減収
- OEMビジネスは大幅減収

2024年の施策

販売
動向

↗
YoY

- 在庫調整が明け大幅増収見込む
ハンドピース拡販、DCIコラボ
- OEM販売も回復に向かい、増収

DCI



2023年11月26日～29日 Greater New York 2023

2023年10-12月の概況

- 米国のデンタルチェア市場は1月から9月まで堅調だったが、10月以降に需要急減。DCIも販売減少

2024年の施策

販売
動向

↗
YoY

- 需要弱含みが続くものの、積極的な販促とハンドピースバンドル等の推進で、販売増となる見込み

アジア



2023年6月9日~12日 Sino-Dental 2023 (北京)

2023年の概況

販売
動向



YoY

- 中国：軟調ながらも中国産製品で入札案件を確保、販売伸長
- 韓国：メーカー向けOEMが軟調
- 東南アジア：需要回復し二桁伸長

2024年の施策

販売
動向



YoY

- 中国：景況感は悪いが現地工場の生產品目拡大で販売下支えリファイン連結で大幅増収
- 韓国：市況厳しく販売減の見込み
- 東南アジア：販売横ばいを見込む



2023年1月25日～28日 CIOSP2023 (ブラジル)



2023年2月7日～9日 AEEDC Dubai 2023 (UAE)

その他

2023年の概況

販売
動向 
YoY

2024年の施策

販売
動向 
YoY

中近東

- 需要回復が鮮明で、再開された入札を着実に獲得し、販売伸長

- 地域紛争勃発で先行きは不透明
新製品拡販で売上横ばい目指す

南米

- 良好な市況を背景に販促活動が功を奏し、二桁増収を達成

- 市況感も良好で、インプラントモーター等の拡販で増収見込む

ロシア

- ロシア販売は堅調。CIS諸国向けの販売は大幅伸長

- ロシア販売は大幅減を見込む
CIS諸国への拡販で販売下支え

豪州

- 訪問歯科診療ユニットやハンドピース販売が伸長し、二桁増収

- ハンドピース新製品や予防歯科製品の拡販で増収を見込む

2023年・概況

国内外における販促活動が効果をあげ、二桁増収を達成。特にディスク販売が大幅伸長

YoY ↗	国内	コンソールの買替・追加が伸びたほか、増産対応中のディスク販売が大幅伸長
YoY ↘	欧州	主要な販売店との取引は拡大したが、OEM契約消失の影響を補いきれず減収
YoY ↗	北米	既存販売代理店との取引拡大に加え、新しい枠組みでの協業ビジネスにも着手
YoY ↗	アジア	底堅く続いた需要を背景に、中国・台湾・韓国等でのディスク販売が大幅伸長

2024年・施策

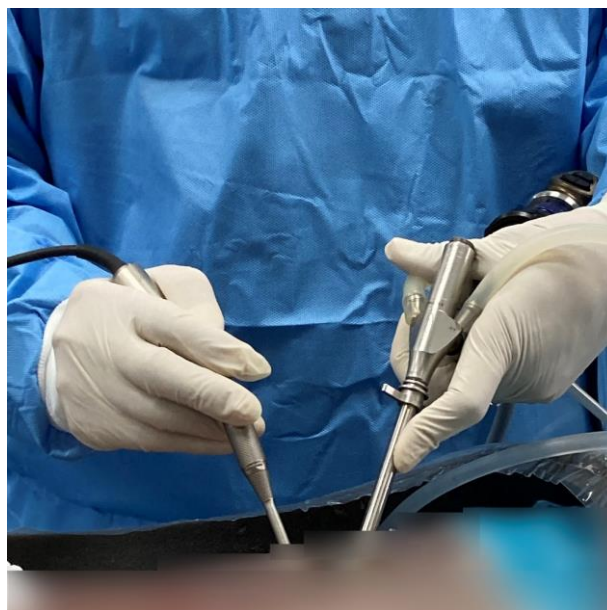
戦略的パートナーシップの強化・新規構築を目指すとともに、事業推進体制強化を継続

YoY ↗	国内	販促活動を継続するとともに、展示会等で顧客ニーズ探索・協業モデルを模索
YoY ↘	欧州	需要は弱含みながらも、ディスク拡販や販促キャンペーン展開で販売を下支え
YoY →	北米	昨年立ち上がった新しい協業ビジネスに注力。強固な収益基盤の確保を目指す
YoY ↗	アジア	上海子会社を通じた中国での拡販と、需要回復つづく韓国へのアプローチ強化

ハンズオンセミナー等を通じて顧客アプローチを強化



▲トレーニングコースの様子



▲右手に持つのが「Primado2」

2023年11月4日～5日

タイ・バンコク

**チュラロンコン大学
トレーニングコース**

2023年・概況

部品不足解消で生産正常化。受注案件の遂行で販売伸長。イエガー買収効果を除外しても増収

YoY ↓	国内	需要は減退傾向ながらも、生産正常化で受注済み案件を消化し、売上を下支え
YoY ↗	欧州	市況は厳しいが NAKANISHI 製品販売は堅調。イエガー新規連結で大幅増収
YoY →	北米	厳しい市況で販売は減少したが、円安で売上がかさ上げされ、前期並みに着地
YoY ↗	アジア	需要の冷え込みは顕著だが、前期から繰り越した受注済み案件をこなして増収

2024年・施策

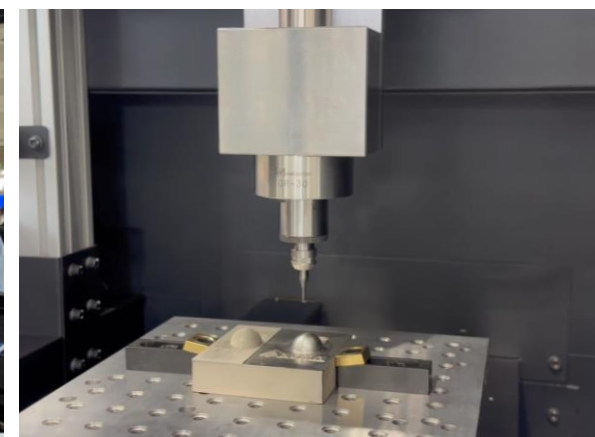
世界的に設備投資意欲は減退傾向にあり、機工事業としては厳しい一年になる見通し

YoY →	国内	工作機械・工具メーカーとのコラボ推進、新規需要の掘り起こしに注力
YoY →	欧州	NAKANISHI 製品販売は前年並みを目指す。イエガーのPMIに引き続き注力
YoY ↗	北米	生産性向上をテーマにした顧客アプローチによる需要掘り起こしで増収目指す
YoY ↓	アジア	主力市場である中国の設備投資は大きく減退しており、大幅減収となる見込み

メカトロテックジャパン 2023

2023年10月18日 ~ 21日 @ポートメッセなごや

システムインテグレーターとのコラボ推進
アプリケーション訴求で需要の掘り起こし



買収3社を含めたナカニシの成長戦略

代表取締役社長執行役員 中西 英一

2030年に向けての 歯科事業の成長戦略

1. ハンドピースの世界シェア拡大 (28% ▶▶▶ 35%)
2. インプラントモーターのシェア拡大 (40% ▶▶▶ 50%)
3. 予防歯科機器のシェア拡大
4. 訪問診療機器の製品ラインアップ拡充

歯科事業の成長戦略

ハンドピースの世界シェア拡大

28% ▶▶▶ 35%

北米市場 および 中国市場 の攻略が不可欠

世界最大規模
&
高い成長性

14億人の成長余地
が非常に高い市場

北米市場

デンタルスクール **68**校(アメリカ)

11校(カナダ)

人口10万人当たり
の歯科医師数 **54**人(アメリカ)

62人(カナダ)

* 歯科医師：20.0万人(米) 2.5万人(加) / 人口：3.7億人(米) 0.4億人(加)

今後5年間のデンタル
スクール開校予定数 **11**校

歯科市場成長率 **約7%**

中国市場

デンタルスクール **258**校

人口10万人当たり
の歯科医師数 **16**人

* 歯科医師：23.0万人 / 人口：14.2億人

直近でのデンタル
スクール開校予定数 **4**校

歯科市場成長率 **約10-15%**

日本市場 デンタルスクール：29校 / 人口10万人当たりの歯科医師数：**85**人 / 歯科医師数：10.7万人

北米市場の攻略

製品ラインアップの拡充



+



▲ Ti-Max Z エアタービン
(エア式)

▲ Ti-Max Z コントラ
(電気モーター式)

▲ NLZ
(電気マイクロモーター)

ナカニシ&DCI コラボの深化



▲ DCIチェア・NSKハンドピースバンドル販売

ディーラー

歯科大学

DSOs

Dental Service Organizations

シナジー [ナカニシ X DCI]

▶ ナカニシがDCIに提供する付加価値

- ナカニシの高性能「歯科用マイクロモーター」をDCIデンタルチェアにビルトイン
- 世界シェアトップを誇るナカニシのハンドピースをDCIデンタルチェアにバンドル

▶ DCIがナカニシに提供する付加価値

- 歯科医院の初回購入品に含まれるデンタルチェアの標準品：ハンドピースの位置づけ
- 北米最大級のDSOsとの取引実績（顧客基盤）

▶ DCI買収によって生まれた付加価値

北米市場の約70%を牛耳る2大ディーラーとのパワーバランスの改善
ナカニシ・DCI 連合によって、ディーラーに対するプレゼンス向上

中国市場の攻略

四川工場でハンドピースのノックダウン生産開始 ▶▶▶ バイ・チャイナ政策に適応
新進気鋭の歯科医療用機器メーカー・リファイン買収 ▶▶▶ 台頭する中国メーカーに対抗



四川工場



リファイン

事業環境

中国産製品の優遇政策

大型入札案件等では
国産品限定の表記有

事業環境

インプラントの集中購買

インプラント体（人工歯根）
の価格低下は当社に追い風

事業環境

中国メーカーの台頭

コピー品から脱却し
独自ブランドを展開

四川工場から製品出荷開始

中国市場向けローエンド
ハンドピースの生産開始

ハンドピースの生産
品目拡充を推進

インプラントモーター拡販

高い世界シェアを誇る
「Surgic Pro」を拡販

NSKブランド製品の
操作性・安全性を訴求

リファインで反転攻勢

中国における予防歯科
製品のシェア拡大図る

NSK+リファインで
ラインアップを補完

シナジー [ナカニシ X リファイン]

▶ 中国におけるローエンド市場の攻略

中国メーカーにほぼ独占されている超音波スケーラー・エンドモーター市場の取り込み

▶ 新興国（アジア・南米・中近東）へのローエンド製品展開

- 新興国で急速にシェアを伸ばしている中国メーカーを抑止
- ローエンド市場でもNo.1に

▶ 電気製品の開発スピードアップ&コストダウン

電気製品の開発・生産に強いリファインとのコラボで競争力アップ

機工事業の成長戦略

1. 超精密・超高速スピンドルで世界シェア拡大
2. ロボットメーカーとのコラボレーション
3. 製品ラインナップ増強、顧客層の拡大

イエガールの
高周波スピンドル

イエガールの
欧州顧客基盤

シナジー [ナカニシ X イエガー]

クロスセルを推進。それぞれの強みを相互活用

ナカニシ

イエガー

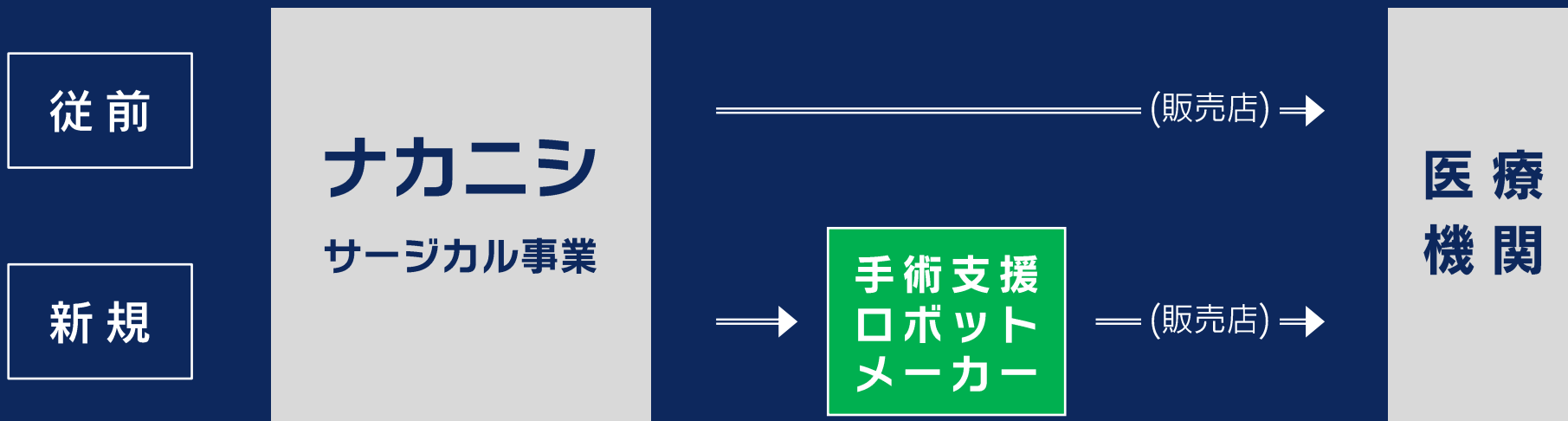
自動車, スマホ, 医療機器, プリント基板, ロボット, 他	導入分野	デンタル CAD/CAM, プリント基板, ロボット, 他
Φ 20 ~ 50 mm	スピンドル径	Φ 30 ~ 150 mm
1,200 W	最大出力	20,000 W
150,000 rpm (Air) 80,000 rpm (DC)	最大回転数	120,000 rpm (DC/AC)
エアーマーター DCブラシレスモーター	基本技術	DC/AC 高周波モーター
モーター・スピンドル分離型	基本構造	モーター・スピンドル一体型
日本, アジア, 北米	主力市場	欧州

外科事業の成長戦略

1. 脳外科・脊椎外科用ドリルで世界シェア拡大
2. 手術支援ロボットメーカーとのコラボ
3. 新領域の医療機器のビジネス展開

オプションとして
M&Aもあり得る

手術支援ロボットメーカーとの協業



手術支援ロボット対応デバイスを開発・出荷開始



手術支援ロボット用アタッチメント



手術支援ロボット用スリムモーター

買収3社を含めた成長戦略（まとめ）

イエガー	機工事業の基盤強化（製品ラインアップ・主要市場）を図るための買収
DCI	北米市場におけるハンドピースのシェアアップを加速させるための買収
リファイン	中国を含めた新興国市場で中国メーカーに徹底対抗していくための買収

ナカニシ

Φ20～50
スピンドル
日・米・中
の顧客基盤



イエガー

Φ30～150
スピンドル
ヨーロッパ
の顧客基盤

ナカニシ

ハンドピース
歯科用マイクロモーター



DCI

米国市場第2位のデンタルチェア
DSOとの取引実績

ナカニシ

ハンドピース（ハイエンド～ローエンド）
超音波スケーラー（ハイエンド）



リファイン

超音波スケーラー（ロー～ミドル）
電気製品の開発・生産能力

